

AASは『正しい答えではなく、論理の妥当性で勝負する』スタイルの診断士受験専門機関です。

AAS名古屋

この解答例は、11月24日 現在のものです

AAS（アソシエ・アドバンス・スクール）は、中小企業診断士2次試験に特化した受験機関です。過去問を基軸に置いた学習で、スーパーフレームワークや設問分解練習法など独自の2次試験攻略法を開発してきました。AASでは「表現力×構成力×与件活用力」で答案を作成しています。

【令和3年度・第2次筆記試験】 事例Ⅳ（財務・会計戦略）

この模範解答例は
AAS名古屋が作成しました。

第1問（配点30点）

（設問1）

	(a)	(b)
①	売上高総利益率	27.78 (%)
②	有形固定資産回転率	4.56 (回)
③	販売費及び一般管理費比率	27.46 (%)
④	自己資本比率	8.22 (%)

（設問2）（80字）

地元密着により粗利率に優れ、補助金等活用により有形固定資産回転率に優れる。客数増により人件費を削減しての収益性改善と内部留保増での資本構成の改善が課題である。（79文字）

第2問（配点30点）

（設問1）

(a)	25,600,000円
(b)	人件費削減の税引後CF： $25,000,000 \times (1 - 30\%) = 17,500,000$ 単位：円 減価償却費差額の税引後CF： $(210,000,000 \div 6年 - 100,000,000 \div 5年) \times 30\% = 4,500,000$ 特別損失の節税効果の税引後CF： $(20,000,000 - 8,000,000) \times 30\% = 3,600,000$ 初期投資額を除いた2022年度中のキャッシュ・フロー： $17,500,000 + 4,500,000 + 3,600,000 = 25,600,000$

（設問2）

2022年期首のCF： $-210,000,000 + 8,000,000 = -202,000,000$ 単位：円
2022年期末のCF： $25,600,000 - (-100,000,000) = 125,600,000$
2023年から2027年期末のCF： $17,500,000 + 4,500,000 = 22,000,000$
取替投資案の現在価値： $-202,000,000 + 125,600,000 \times 0.943 + 22,000,000 \times (0.890 + 0.840 + 0.792 + 0.747 + 0.705) = 3,868,800$
現在価値は正であるため、当該取替投資案を採用する。

AASは『正しい答えではなく、論理の妥当性で勝負する』スタイルの診断士受験専門機関です。

(設問3)

(a)	1,932,159円
(b)	フルセルフレジの価格をx円/台とする。 ・初期投資額の差額： $-100x+100,000,000$ ・減価償却費の差額： $(100x \div 5 - 20,000,000) \times 30\% = 6x - 6,000,000$ ・人件費の節約額： $25,000,000 \times 70\% = 17,500,000$ これらを方程式にすると $(-100x+100,000,000) \times 0.943 + (6x-6,000,000+17,500,000) \times (0.890+0.840+0.792+0.747+0.705) > 3,868,800$ これを満たす $x > 1,932,159.078 \Rightarrow 1,932,159$ 円

第3問 (配点20点)

(設問1)

32,143 kg

(設問2)

(a)	38,572kg
(b)	単位当たりの変動費： $30,000,000 \times 60\% \div 50,000\text{kg} = @360$ 各目標販売数量における利益を求める。 20,000kg以下 ($@1,400 - @360$) $\times 20,000 - 12,000,000 = 8,800,000 < 15,000,000$ となり不可 30,000kg以下 ($@1,240 - @360$) $\times 20,000 - 12,000,000 = 14,400,000 < 15,000,000$ となり不可 40,000kg以下 ($@1,060 - @360$) $\times 20,000 - 12,000,000 = 20,000,000 > 15,000,000$ となり可 年間販売数量をxとすると ($@1,060 - @360$) $x - 12,000,000 = 15,000,000$ $x = 38,571.42 \dots$ 年間販売数量は、38,572kgである。

第4問 (配点20点)

(設問1) (40字以内)

トラックの売却による有形固定資産回転率改善、残業削減等による販管費の低減である。
(40字)

(設問2) (40字以内)

高齢化の進行による客数増と従業員の御用聞き対応での客単価増でC I F増が図れる為。
(40字)

文責：AAS名古屋 鷺山はるこ

無断転用・転載を禁じます。